

ヒルフェ通信(1月号)

❖ そっと寄り添いやさしくサポート ❖

「公益社団法人成年後見支援センターヒルフェ」は東京都行政書士会が社会貢献の一環として設立した法人です。



新年明けましておめでとうございます。本年も、ヒルフェの活動や成年後見| 役立つ情報を掲載してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



◆「日本成年後見法学会第14回学術大会」レポート⑤

今回は、【午前部】の特別報告2件のうち、残りの1件についてレポートします。
 2「成年後見制度利用促進計画について～促進委員会の審議を終えて～」須田俊孝(内閣府成年後見制度利用促進担当室参事官)
 《本報告は》促進委員会の審議に携わった内閣府の担当者が、審議の様子や地域格差の現実に対応した仕組みづくりの苦心を、私見も交えて直接に伝える。具体的には次のとおり。
 ①促進委員会における議論;本人に関する情報が集約されず、親族も気軽に相談できる機関がない。身上監護をもっと重視すべき。そして、後見開始後は家裁も後見人も地域で孤立していないか等、実態を見据えた議論あり。
 ②利用促進策の強化が必要な場面として;申立の支援等の体制整備(中流)や後見開始後の継続的支援等(下流)が、メインとする。
 そして、隠れたニーズや声を上げられない人を探知するアウトリーチ(Reach Out;自ら援助を求めてこない潜在的利用者に、相談機関から地域に積極的に出て手を差し伸べ、利用を実現させるような積極的支援を行う)が必要だと。
 ③基本計画について;計画の3つのポイント
 1)利用者がメリットを実感できる制度・運用の改善、2)権利擁護支援の地域連携ネットワークづくり、3)不正防止の徹底と利用しやすさの調和、の内、「権利擁護支援のネットワークづくり」が今日の中心。「不正防止の徹底と利用しやすさの調和」は、今後の検討に委ねられる点が多い。(理事 高橋進)

◆2月19日(月)練馬地区市民セミナーが開催されます

●成年後見(無料)市民セミナー●
『障害者と親のための成年後見制度』
 ～親の高齢化と親なき後に備える～

障害者と親を支援するためには、親の高齢化や親なき後の備えが不可欠です。障害者と親の間に生じた「溝」を埋め、お互いの「困りごと」を解決するための「成年後見制度」が、親の困りごとを解決する上で重要な役割を果たしています。また、親が高齢化すると、障害者の生活やケアにも影響を及ぼす可能性があります。本セミナーでは、親の高齢化と親なき後に備えるための「成年後見制度」の活用方法や、親の困りごとを解決するための「成年後見制度」の活用方法を紹介します。

日時:平成30年2月19日(月)
 午後1:00～3:00
 受付:午後0:30～

会場:練馬区立区民・産業プラザ3階 Coconeri(ココネリ)ホール
 東京都練馬区練馬1-17-1
 西武池袋線・西武有楽町線・都営地下鉄大江戸線「練馬駅」下車 北口徒歩1分

内容:
 【第1部】「権利擁護センターほっとサポートねりま」の地域福祉
 【第2部】「障害者と親のための成年後見制度」の活用方法
 【第3部】無料相談(午後3:00～4:00)
 ヒルフェ事務局にて実施いたします。

下記の通り、練馬地区市民セミナーを開催いたしますので、ご参加、ご協力をよろしくお願いいたします。

記
 テーマ:『障害者と親のための成年後見制度』
 ～親の高齢化と親なき後に備える～
 日時:平成30年2月19日(月)
 午後1:00～3:00(受付 午後0:30～)
 会場:練馬区立区民・産業プラザ3階 Coconeri(ココネリ)ホール
 東京都練馬区練馬1-17-1
 西武池袋線・西武有楽町線・都営地下鉄大江戸線「練馬駅」下車 北口徒歩1分

分
 内 容:第1部 「権利擁護センターほっとサポートねりま」の地域
 福
 祉権利擁護事業とは
 第2部 成年後見制度を利用するにあたって注意すべきこ

◆12月11日(月)中央支部市民セミナーレポート

中央支部主催の市民セミナー「相続のトラブルや老後に備える方法と成年後見制度の活用」が日本橋図書館で開催、ヒルフェも後援いたしました。第1部は公証人による遺言・相続セミナー、第2部にヒルフェ佐々木専務理事が講師として、成年後見お役立ちセミナーを講演しました。図書館も関連書籍を展示するなど協力的で、参加者は50名と盛況でした。図書館との新たな連携が垣間見えたセミナーでした。



◆会員向け相談を開催します(予約制)

日時:平成30年1月22日(月)午後1:00～4:00(1人30分ずつ6名限定。先着順)
 場所:ヒルフェ事務局
 予約方法:ヒルフェ事務局に電話(03-3476-5131)し、氏名・地区名・電話番号・希望時間をお伝え下さい。追って、後見事業部より確認の連絡をいたします。(締切 平成30年1月18日)